



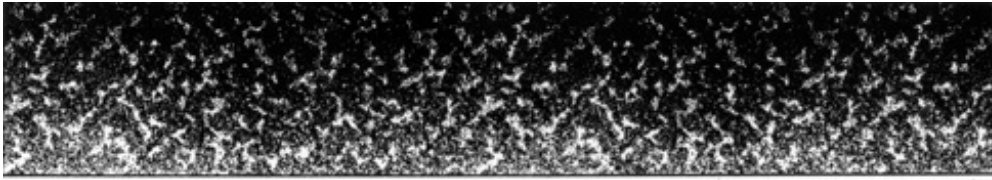


嗚呼
ああ
犬神様だ















化け物絵師の
先生としては
こりや捨て置けん
話でんなあ

興味など
湧かなかった



その時も
このよく喋る丁稚
の話など気にも
しなかつたのだが



そもそも
あたしはその手の
話にはうんざり
しており



生来
巻き込まれる質
らしく...

件の変死体が
川原に上がった
のは三日後で
あった

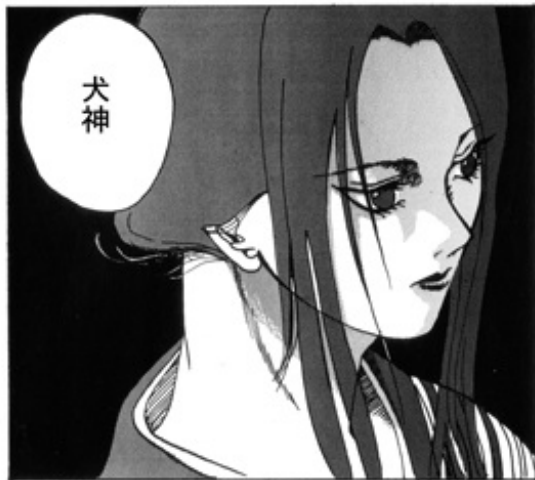




エエイ
どど
退け退け

奉行所や
ホラ散らんか

十
カ
ワ
キ
マ
メ



犬神



ねえ先生
こらやっぱり
妖怪の仕業と
違いますかな

なんて云うた
つけ...そう!

.....













……そう
もう二十年以上
も以前の話やが
……



……犬神は
祀っている家の
女に代々憑く
という……



犬神使い……か

あの坊さんは
犬神を駆使して
悪い奴を成敗
したんやろか？



阿波のある村に
その犬神憑きと
云われてる家が
あった

田舎の村のこと
やからな
その家の人間は
たいそう嫌われて
苛められてた



異常やないか
そんな
魚が死んだくらい
で人殺すやなんて

せやけどそれまで
にも、やれ誰かが
病気になるたの怪我
したのと全部その家の
所為にされてたんや

それは
切掛なんや



あるとき
村の生贖の魚が
ようけ死んでな
こりやあ犬神の仕業
やと、その家の者
殺されてしもた

はあ？



毒虫を共喰いさせて
生き残ったやつ
を呪に使う…
蠱毒やな

この犬神の起源は
中国やと云われてるな
道教の呪術に
巫蠱と云うのが
あるやろ



ふんっ
云われてた
云われてた
…か!

そんで殺された
わけやその犬神
憑きの家の人間
も絶えたんやな



その蠱毒も
含め生き物の
靈魂を使った
呪いを蠱道
ちゆうてな

その犬神憑きの
家の祖先は蠱道を
よくする者やと云われて
たんや



……

なんやと……



その女アな
まだ幼い
小童連れとった

男の子やった



いいや
ひとり生き延びた

命辛辛
大坂まで逃げて
きた





女は疵を
負うとつた

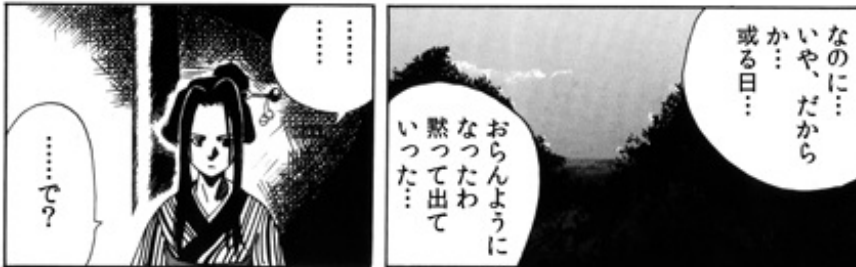
母子共々
乞食同然で
見とれんかった



僕はその母子を
数日この堂に
住まわせた

女も
落ち着くと
身の上を
ぼつぼつ
話した

せやけど疵は
ようなかつた
長くないように
思われた……



なのに……
いや、だから
か……
或る日……

おらんように
なつたわ
黙って出て
いった……

……で？

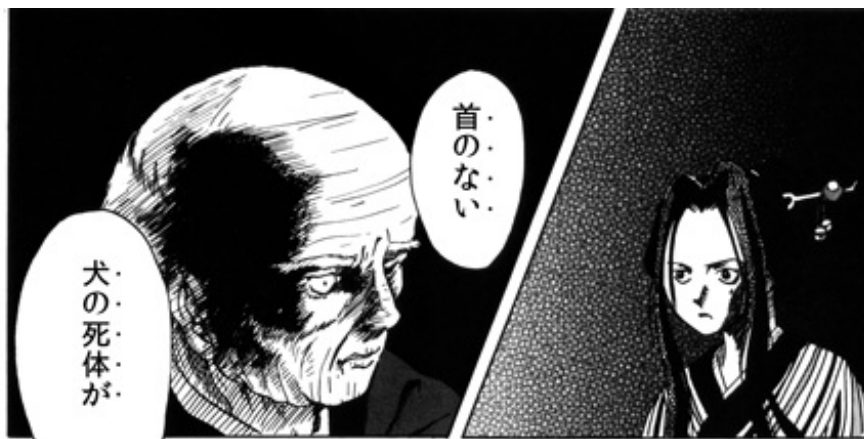


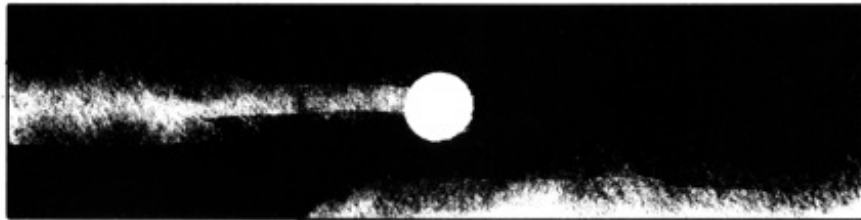
それから……
僕は……

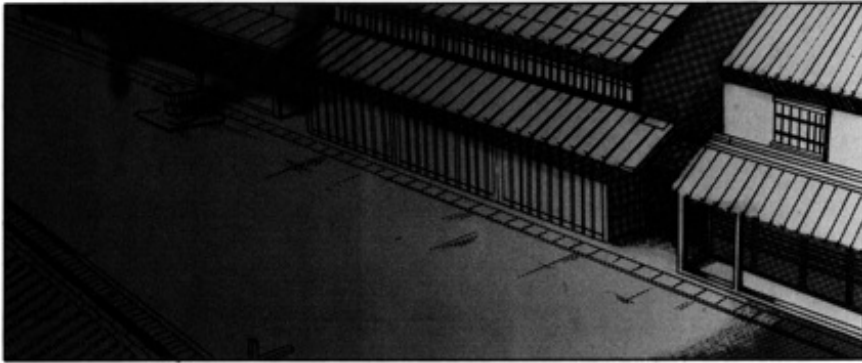
見たんや……

裏の……

林に……









こんな夜中に
こつこの
乞食坊主!

ええ?
こら



うい
こらあ坊さん

ひ、人にぶつかつと
いて挨拶もなしかい



あつ...!
ば...化け物...

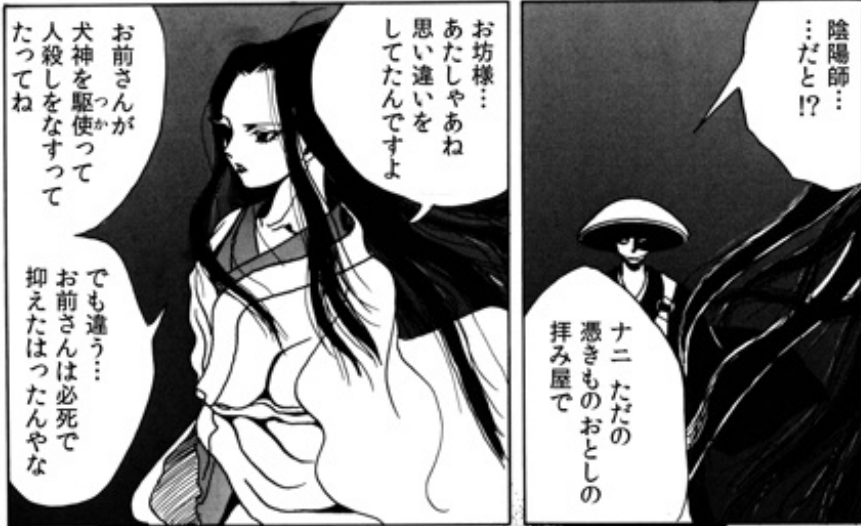
ざり



びり









サア
お立ちなさい
犬神様を
持って!!

弥吉!



弥吉——!!



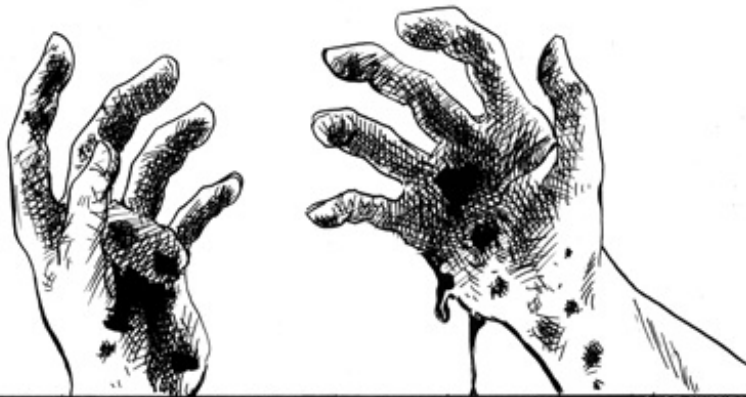
確り
持つのですよ
誰も守っては
くれない

犬神様
だけが頼り
けっして
離しちゃ
いけないよ



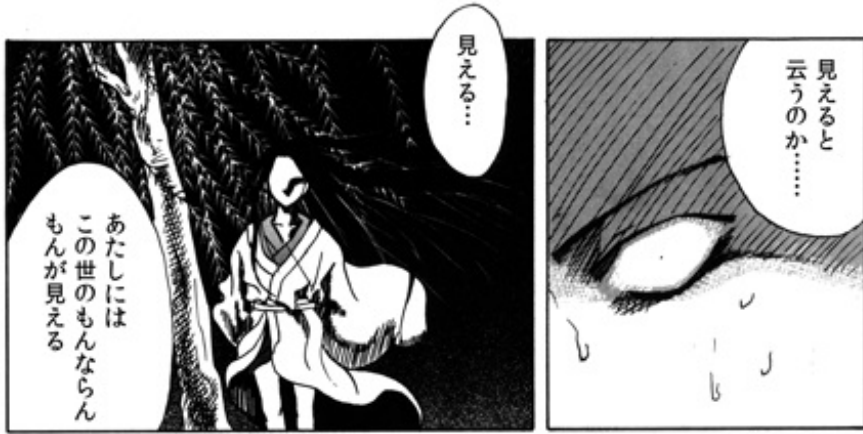
けっして
離しちゃ
いけない



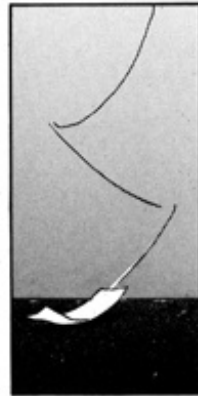


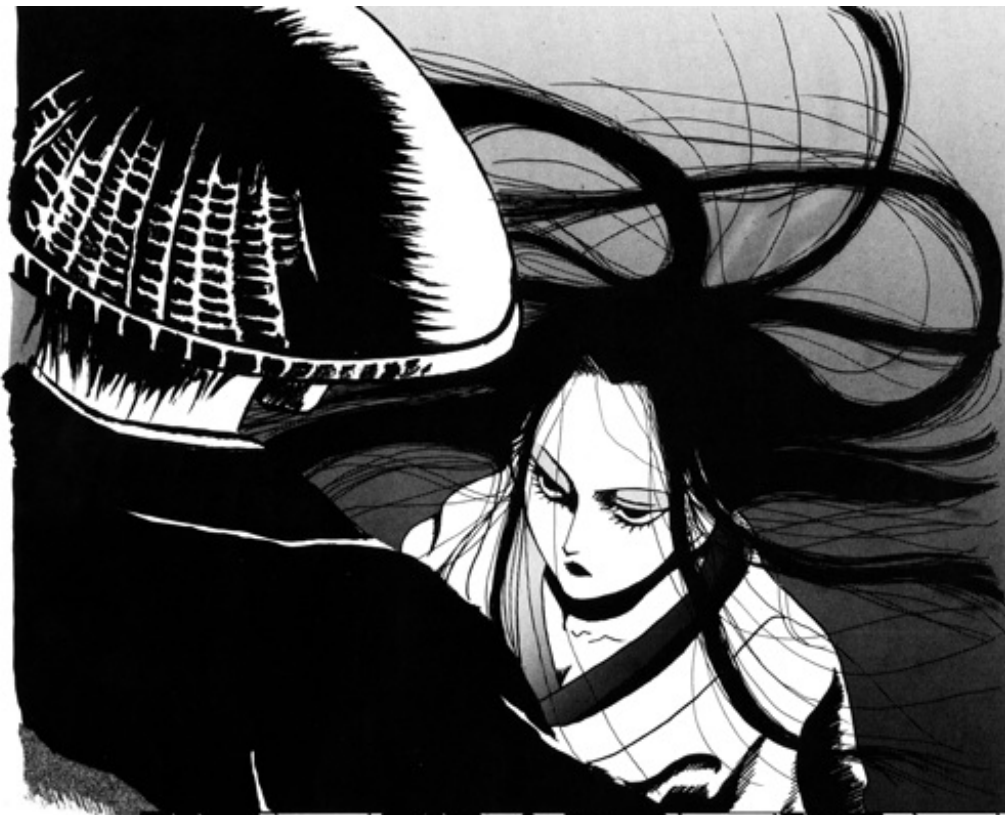
そんな
大きな
犬

重
い
や
ろ
う
に
……

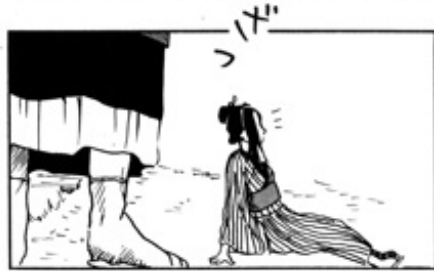
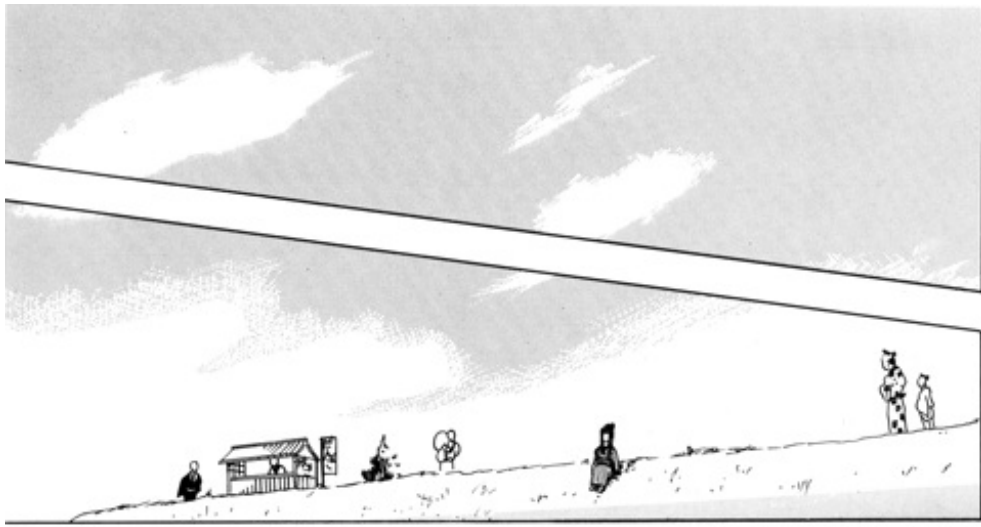












そんな
趣味の悪い物
二十数年も
持ち歩いて

御母様の
形見代わり
かいな



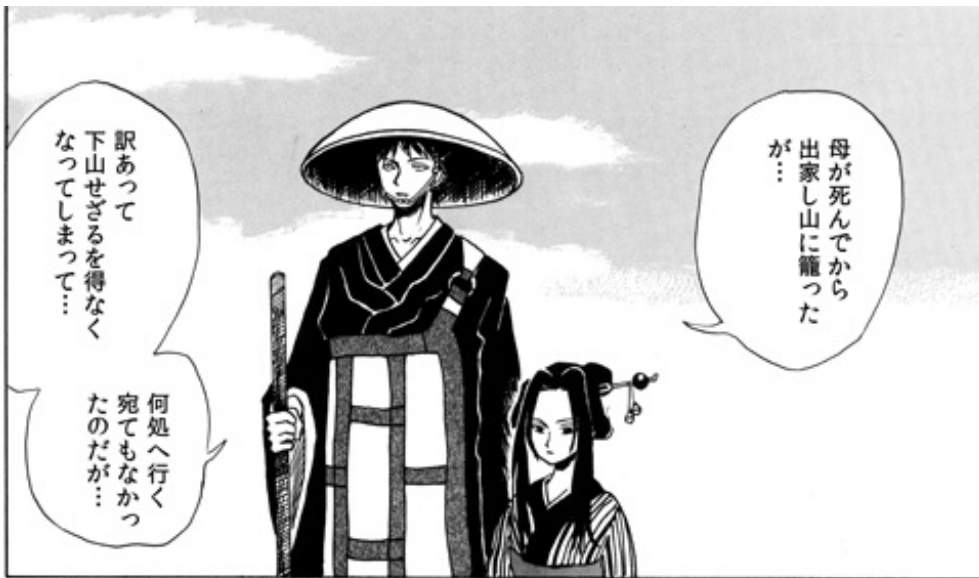
ほいよ
返したっても
エエで

こんな
ただの犬の
頭骸骨や



お前さんの
云うとおり
俺は母の念に
憑かれていたようだ

……
いや……





せや
こいつは罪穢れを
背負わせる
人形にする

こうやって
憑きものを背負わせ
て川へ流すんや



奉行所に
突き出さんのか
?



……
……



…云うたかて
信じるかいな

犬神
……



辻斬りの
下手人だ…



犬神

<http://p.booklog.jp/book/60068>

著者：お里

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/osatoyan/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/60068>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/60068>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ